

御中

株式会社 鹿児島イーデン電気

一般屋根・外壁用

光触媒複合遮熱塗料 イーデンペイント(EDP-S)塗装仕様書

(共通工事仕様 平成21年版)

●光触媒複合遮熱塗料／イーデンペイントEDP-Sは環境対応型の水性自己乳化型アクリル変性ウレタンエマルジョン塗料に銀系光触媒を表層にコーティングした塗料です。

遮熱塗料層には親油性基を導入しているため、耐熱水性・耐水性・耐候性に最も優れ、また柔軟ながら強い塗膜を形成し、伸びと弾性を有した難燃性の遮熱塗料です。太陽光中の近赤外線を、放射・反射し、発熱を抑制する優れた遮熱効果と、光触媒による有機物分解、超親水性による防汚効果・環境浄化が期待できます。

工程	材料の調合	施工方法	可使用時間	使用量	施工間隔
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ・施工前は平滑で、汚れ、ゴミ等の付着物がないこと。 ・下地に付着しているゴミ・土砂・油分・レイタンス等は、ワイヤーブラシ、サンドペーパー等で除去する。 ・型枠方法で離型剤がコンクリートに付着している場合は溶剤(シンナー)等で洗浄する。 ・木型枠の木肌が残っている場合は、ワイヤーブラシなどで除去する。 ・錆・錆穴・亀裂・浮きなどがある場合、錆処理、錆止めペイントを塗布し、アステープ処理を行なう。 剥ぎ取った凹部分はコテ等用い、セラテック(防水コート材)で平滑に処理する。 ・気温5度以下、湿度85%以上の場合や降雨が予想される場合は塗布をしないで下さい。 <p>※夜露にご注意下さい(未乾燥状態時、夜露は降雨と同じです。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素地は十分に乾燥していることを確認してから次の工程に入ってください。 (含有率 10%以下、PH10 以下とする) 				
プライマー	カチオンコートオール (原液で使用する)	15kg	刷毛 ローラー スプレーガン	0.1～ 0.16kg/m ²	2H 以上
遮熱層仕上げ 塗り	遮熱塗料／イーデンペイント(EDP-S) 主材 13kg 硬化材 1kg		刷毛 ローラー スプレーガン	0.1～ 0.28kg/m ²	3H 以上 ～24H
トップコート EDF塗装用	光触媒層／ イーデンペイント トップコート 主材 1L, 又は2L		中低圧スプレーガン	3.3mL/m ²	1H 以上

注意事項

カチオンコートオール : 夏季直射日光を避けてください。また冬季は凍結しないよう御注意下さい。
使用した用具類は作業終了後、直ちに水洗いして下さい。

遮熱塗料 : 2液型ですので、マーゼル等で十分に攪拌して下さい。不十分の場合は硬化不良となります。

トップコート
(光触媒層) : コーティング面に水分が付着していないことを確認し計量カップ等で計量し適正量をコーティング
して下さい。

株式会社 鹿児島イーデン電気

地球環境・人・建築物にやさしいピュアな光触媒複合遮熱・断熱塗料
一般屋根・外壁用光触媒複合遮熱・断熱塗料

光触媒複合遮熱・断熱塗料/イーデンペイント(EDP-S)
一般屋根・外壁用 光触媒複合遮熱塗料仕様
共通工事 平成21年版
施工要領書

工事名称

年 月 日

株式会社 鹿児島イーデン電気
技術部

株式会社 鹿児島イーデン電気

目 次

1 適用範囲

2 工事概要

- ① 工事名
- ② 所在地
- ③ 元請者
- ④ 施工業者

3 使用材料

- ① 商品名
- ② 発売者・製造者

4 材料・荷姿

5 提出見本板

6 仕様書

7 施工方法

8 疑義

9 塗膜の養生

10 保管及び取り扱い

11 作業環境

12 使用材料の品質

※添付書類

材料品質証明書

・カチオンコートオール

・光触媒複合遮熱塗料/遮熱塗膜層

・光触媒複合遮熱塗料/光触媒(EDF塗装用)層

1 適用範囲

当要領書は、一般屋根・外壁用「光触媒複合遮熱塗装」仕様に基づき、下記に記す光触媒複合遮熱塗装＝イーデンペイント(EDP-S)工事に適用する。

2 工事概要

①工事名 _____

②所在地 _____

③元請者 _____

④施工業者 _____

3 仕様材料

①商品名 イーデンペイント(EDP-S) / 遮熱塗料(自己乳化型アクリル変性ウレタン樹脂)
イーデンペイント(EDF-P) / 銀系光触媒＝EDFペイント用

②発売者 株式会社 鹿児島イーデン電気
製造者 遮熱・断熱塗料OEM アース化研株式会社
銀系光触媒＝EDFペイント用 株式会社 鹿児島イーデン電気

4 材料・荷姿

①カチオンコートオール(1液アクリルカチオン型プライマー)	15kg
②イーデンペイント(EDP-S) / 遮熱塗料(自己乳化型アクリル変性ウレタン樹脂塗料)	13kg+1kg SET
③イーデンペイント(EDF-P) / 銀系光触媒＝EDFペイント用	1 ^{リットル} , 2 ^{リットル}

5 提出見本板

材料に先立ち、指示の通り見本板を提出し、監督者の承認を得る。

6 仕様書

工程	使用			備考
1	プライマー	カチオンコートオール	0.1~0.16kg/m ²	
2	遮熱層仕上材	イーデンペイント(EDP-S) / 遮熱塗料	0.1~0.28kg/m ²	0.35mm
3	銀系光触媒	イーデンペイント(EDF-P) / 銀系光触媒=EDFペイント用	3.3mL/m ²	mm
				0.35mm

7 施工方法

7-1.下地の状態

- ① 下地は十分乾燥していること。
コンクリート打設後、夏季は3週間以上、冬季は4週間以上が目安。
モルタル打設後、夏季は2週間以上、冬季は3週間以上が目安。
- ② 平たん、平滑で、レイトンス・浮き・脆弱部及び突起物などの欠陥がないこと。
レイトンスや老化、脆弱部分は、サンディングやシンナーなどで除去する。
- ③ 下地表面の風化が激しい箇所や欠損部・段差などは、カチオンセメントまたはカチオンフィラーもしくはエポキシ樹脂モルタルで平滑にする。
- ④ 貫通パイプ、取付金具などは所定の位置に堅固に取りつけてあり、欠損のないこと。
錆やタール、油脂等の付着物は除去後、エポプライマー(金属面)などで表面処理を行なうこと。
- ⑤ 突出物と下地との取合箇所が滑らかなこと。
- ⑥ 微クラック等あれば、コーキング処理を行なうこと。
- ⑦ 砂や塵埃及び油脂等が付着していないこと。

7-2.作業のための養生

- ① 計量及び混合の場所は、ビニルシート、ダンボール紙等を利用して養生する。
- ② 塗布箇所の端部付近及びその周辺は、塗布時に材料が飛散して汚染する事があるので被覆養生する。
- ③ 塗布端末部を通りよく仕上げる場合は、マスキングテープを貼り、塗布後、硬化状態を見計らって撤去する。

7-3.工程

工程①プライマーの塗布

カチオンコートオール 15kg 原液で素地に塗布する。
使用量 0.1~0.16kg/m²
施工方法 原液を刷毛、ローラー、スプレーにて塗布する。
施工間隔 2H以上

工程②遮熱仕上げ材の施工

イーデンペイント(EDP-S) /遮熱塗料
主材 13kg
硬化材 1kg (重量比---所定の割合で十分に攪拌する)
使用量 0.1~0.28kg/m²
施工方法 刷毛、ローラー、スプレーにて塗布する。
可使時間 6H以内
養生期間 3H以上
施工間隔 3~24H

工程③銀系光触媒の施工

イーデンペイント(EDF-P) /銀系光触媒=EDFペイント用
主材 1L, 2L
使用量 3.3mL/m²
施工方法 中低圧スプレーガンにて塗布する。
可使時間 24H以上
養生期間 3H以上
施工間隔 0.5H以上

8 疑義

施工上の都合により、本要領書に変更を生ずる場合は、文書をもって、その理由書を提出し監督者と協議して、その支持に従うものとする。

9 塗膜の養生

・施工終了後の養生時間は、3時間以上。

・塗膜養生は、3時間以上。

下記の作業を行う場合は、塗膜を損傷しないように養生する。

- ①火花の散る恐れのある溶接、溶断の作業やグラインダーがけ作業。
- ②ねこ車等の運搬車又は椅子、脚立などを使用する作業。
- ③タイル貼り左官、塗装、配管及び墨だしなどの作業。
- ④仮設材料、資機、材類の運搬及び取り付け作業。

10 保管及び取り扱い

保管及び取り扱いには、消防法及び労働安全衛生法並びに、それらの関係法規の規制により安全に確保する。

- ①材料は、雨・梅雨・直射日光が当たらない場所に密封状態で保管し、その貯蔵安定期間を厳守する。
- ②塗料及びシンナーは火気に十分注意し、使用に当たっては換気に万全を期す。

11 作業環境

①施工時の天候

- ・降雨、降雪時、または降雨、降雪、夜露が予想される場合、もしくは降雨、降雪後で下地が未乾燥の場合は施工しない。
- ・外気温 5℃以下での施工はしない。
- ・強風及び高温多湿の時は施工しない。

②作業環境

- ・作業場所は、常に整理整頓を行う。
- ・作業場所は、十分な換気と採光を確保する。

③作業環境の整備は、建築工事一般安全管理事項により、係員と打ち合わせの上遵守する